

名古屋市観光客・宿泊客動向調査

(平成26年度)

平成27年 11月

名古屋市市民経済局

目 次

1. 観光統計について	1
(1) 調査の目的と全国観光統計基準の採用	1
(2) 入込客数	1
(3) 観光消費額	4
2. 調査の集計結果	6
2-1 観光客の現状	6
(1) 調査の概要	6
(2) 調査結果	7
2-2 宿泊施設調査	28
(1) 調査の概要	28
(2) 宿泊施設の現状	29
(3) 宿泊客数	31
2-3 全国から見た名古屋の観光に関する評価	41
(1) 調査の概要	41
(2) 名古屋への訪問状況と観光資源の認知度等	42
(3) 名古屋に対する評価	53
(4) 観光振興について	65
3. 資料編	70
(1) 主要観光施設への入込動向	70
(2) 名古屋のまちの印象	74
(3) 名古屋の観光について	79
(4) 「名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成 25 年度の訂正）」	87

巻末 調査票

注1：本文中で用いたテレビ塔、ブルーボネット、スカイプロムナードの正式名称は、それぞれ名古屋テレビ塔、名古屋港 ワイルドフラワーガーデンブルーボネット、ミッドランドスクエアスカイプロムナードである。

注2：表、グラフに記してある居住地別などの数値にはその項目の「無回答」が除かれているため、その合計と全体の数値が一致しない場合がある。

※本編中の平成 25 年度における推計値のうち、「宿泊客実人数」、「延べ宿泊客数」、「日帰り客実人数」、「観光消費額」、「年間総実人数」、「年間総延べ宿泊者数」、「年間定員稼働率」について修正した。関連ページ及び図表は以下のとおり。

p2 表 1-1-4、p3 表 1-1-6、p4 表 1-2-1、p5 表 1-2-2、p32 表 2-2-5、図 2-2-2

なお、平成 25 年度の修正箇所については、p86 以降に参考資料として「名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成 25 年度 訂正版）」を掲載した。

◆調査対象観光地点の選定について

名古屋市では、平成 8 年 3 月に社団法人日本観光協会（現 公益社団法人日本観光振興協会）が刊行した『全国観光客数統計～観光統計の調査・集計方法の全国統一～（全国観光統計基準の提案）』の基準を参考に、調査対象観光地点を選定している。

参考：調査対象施設の基準

- ・原則として、年間入込客数が 5 万人以上かつ、市外の観光入込客数が 2 割以上見込まれる市内観光地点を対象とした。
- ・新規開業施設については、初年度から年間 5 万人以上の入込客が見込まれる場合には、初年度から調査対象とした。

名古屋市観光客・宿泊客動向調査（平成26年度）

1. 観光統計について

（1）調査の目的と全国観光統計基準の採用

①調査の目的

名古屋市内の主要な観光施設等の入込状況及び宿泊施設の概要、宿泊客数の把握並びに名古屋市を訪れる観光客の目的や特性等を調査し、名古屋市の観光行政の基礎資料とすることを目的とする。

②全国観光統計基準の採用

名古屋市では、交流人口の核をなす観光入込客数の把握の精度を高め、観光施策の企画立案に必要な基礎データを整備するため、愛・地球博開催を契機に平成17年度より、全国観光統計基準に準拠し、行・祭事、イベント、スポーツ、音楽・演劇等の都市観光を中心とする新たな観光地点を調査に加えた。平成26年度については、全国観光統計基準に適合する84地点の観光入込客数を把握した。

（2）入込客数

①観光入込客延べ人数

観光関連施設や行・祭事、イベント実施団体からの入込客数の回答により、観光入込客延べ人数を算出した。平成26年度の名古屋市内の観光入込客延べ人数は約6,702万人であり、平成25年度と比較して約185万人増加（対前年度比率102.8%）した。

増加の要因としては、平成25年度は天候が悪かった「名古屋まつり」の入込客が復調したことや「久屋大通庭園フラリエ（旧 ランの館）」が無料開放施設としてリニューアルオープンしたことなどがある。

表 1-1-1 観光地点の分類別入込客数の推移

（上段（ ）内：調査地点数、下段：入込客延べ人数）

全国観光統計基準に基づく分類		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
大分類	中分類				
学ぶ（見る・体験する）	自然				
	文化・歴史	(26) 20,983,337	(26) 21,478,478	(26) 22,625,801	(26) 22,361,685
	産業観光	(6) 2,509,590	(6) 2,199,456	(6) 2,155,078	(6) 2,175,112
遊ぶ（楽しむ・リフレッシュする）	スポーツ・レクリエーション施設	(16) 11,573,957	(16) 11,470,269	(16) 11,502,060	(16) 11,412,265
	温泉				
	買物				
触れ合う（交流する）	行・祭事	(15) 7,003,732	(16) 7,873,300	(17) 6,610,033	(16) 8,502,057
	イベント	(21) 12,800,144	(22) 11,492,527	(21) 22,268,244	(20) 22,564,723
計		(84) 54,870,760	(86) 54,514,030	(86) 65,161,216	(84) 67,015,842

注：調査した観光地点数は、年度によって変動する。

②観光入込客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、平均訪問観光地点数を設定し、観光入込客実人数を推計した。平成 26 年度の観光入込客実人数は 3,965 万人であり、平成 25 年度と比較して 385 万人増加（対前年度比率 110.8%）した。

表 1-1-2 観光入込客 延べ人数と実人数の推移

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
観光入込客延べ人数（人）	54,870,760	54,514,030	65,161,216	67,015,842
平均訪問観光地点数	1.65	1.56	1.82	1.69
観光入込客実人数（万人）	3,326 万人	3,494 万人	3,580 万人	3,965 万人

③居住地別観光入込客数の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の観光入込客実人数を推計した。

表 1-1-3 居住地別観光入込客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
観光入込客の居住地割合	100%	53.2%	46.8%
観光入込客実人数	3,965 万人	2,109 万人	1,856 万人

④宿泊客実人数の推計

宿泊施設の現状調査の回答により、宿泊施設の延べ宿泊客数、宿泊客実人数、宿泊客平均宿泊日数を推定した。

表 1-1-4 宿泊施設の宿泊客数 延べ人数と実人数の推移

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
延べ宿泊客数（人）	6,674,019	6,950,791	7,509,115	7,523,002
宿泊客実人数（人）	5,192,149	5,796,736	5,979,400	5,855,719
宿泊客平均宿泊日数（日泊）	1.29	1.20	1.26	1.28

⑤居住地別宿泊客実人数の推計

観光客の現状調査の回答により、宿泊施設に宿泊する入込客の居住地割合を設定し、名古屋市内・市外別の宿泊客実人数を推計した。

なお、居住地別宿泊客実人数については、平成 25 年度までは宿泊客の現状調査の回答により推計していたが、平成 26 年度から宿泊客の現状調査を実施しないものとしたため、観光客の現状調査の回答により推計した。

表 1-1-5 居住地別宿泊客実人数の推計

	全 体	名古屋市内客	名古屋市外客
宿泊客の居住地割合	100%	2.4%	97.6%
宿泊客実人数	586 万人	14 万人	572 万人

⑥居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

観光入込客実人数から宿泊客実人数を差し引いて、日帰り客実人数を推定した。

観光入込客実人数を居住地別にみると、平成 26 年度の名古屋市内客は 2,109 万人であり、平成 25 年度と比較して 659 万人増加した。また、名古屋市外客は 1,856 万人であり、前年度と比較して 274 万人減少した。

また、平成 26 年度の宿泊客実人数は 586 万人であり、前年度と比較して 12 万人減少した。一方、平成 26 年度の日帰り客実人数は 3,379 万人であり、前年度と比較して 397 万人増加した。

表 1-1-6 居住地別宿泊客・日帰り客実人数の推移

		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
観光入込客実人数	計	3,326 万人	3,494 万人	3,580 万人	3,965 万人
	名古屋市内客	1,201 万人	1,150 万人	1,450 万人	2,109 万人
	名古屋市外客	2,125 万人	2,344 万人	2,130 万人	1,856 万人
宿泊客実人数	計	519 万人	580 万人	598 万人	586 万人
	名古屋市内客	25 万人	48 万人	41 万人	14 万人
	名古屋市外客	494 万人	532 万人	557 万人	572 万人
日帰り客実人数	計	2,807 万人	2,914 万人	2,982 万人	3,379 万人
	名古屋市内客	1,176 万人	1,102 万人	1,409 万人	2,095 万人
	名古屋市外客	1,631 万人	1,812 万人	1,573 万人	1,284 万人

(3) 観光消費額

①観光総消費額の推移

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、観光総消費額を推計した。平成 26 年度の名古屋市内の観光総消費額は 3,204 億円であり、平成 25 年度と比較して 58 億円増加している。

宿泊客の総消費額は 1,549 億円であり、前年度と比較して 43 億円減少している。

日帰り客の総消費額について居住地別にみると、前年度と比較して、名古屋市内は 242 億円増加、名古屋市外は 141 億円減少している。

表 1-2-1 観光総消費額の推移（推計値）

	居住地	平成 25 年度	平成 26 年度
宿泊客実人数		598 万人	586 万人
日帰り客実人数	名古屋市内客	1,409 万人	2,095 万人
	名古屋市外客	1,573 万人	1,284 万人
宿泊客一人あたり消費額		26,620 円	26,422 円
日帰り客一人あたり消費額	名古屋市内客	3,534 円	3,527 円
	名古屋市外客	6,719 円	7,134 円
宿泊客総消費額		1,592 億円	1,549 億円
日帰り客総消費額	名古屋市内客	497 億円	739 億円
	名古屋市外客	1,057 億円	916 億円
名古屋市内観光総消費額		3,146 億円	3,204 億円

②観光消費額の内訳の推計

観光客の現状調査の回答により、観光入込客一人あたりの名古屋市内での各項目別の平均消費額を宿泊客と名古屋市内・市外別日帰り客に設定し、名古屋市内での旅行費用項目別の消費額を推計した。

平成 25 年度に比べ、食事費は 65 億円、入場料は 65 億円、その他消費額が 103 億円、それぞれ増加し、交通費は 35 億円、土産費は 49 億円、宿泊費は 91 億円、それぞれ減少している。

総消費額は平成 25 年度と比較して、58 億円増加している。

表 1-2-2 観光消費額の内訳の推移

	平成 25 年度	平成 26 年度
食事費消費額	864 億円	929 億円
交通費消費額	488 億円	453 億円
土産費消費額	586 億円	537 億円
宿泊費消費額	603 億円	512 億円
入場料消費額	346 億円	411 億円
その他消費額	259 億円	362 億円
総消費額	3,146 億円	3,204 億円

表 1-2-3 観光客一人あたりの平均消費額

	宿泊客	日帰り客	
		市内居住	市外居住
食事費	6,431 円	1,239 円	2,275 円
交通費	2,314 円	660 円	1,395 円
土産費	4,483 円	505 円	1,306 円
宿泊費	8,743 円		
入場料	1,924 円	734 円	1,119 円
その他	2,527 円	389 円	1,039 円
合計	26,422 円	3,527 円	7,134 円

表 1-2-4 旅行費用項目別総消費額の推計

	宿泊客	日帰り客		観光客計
		市内居住	市外居住	
食事費総消費額	377 億円	260 億円	292 億円	929 億円
交通費総消費額	136 億円	138 億円	179 億円	453 億円
土産費総消費額	263 億円	106 億円	168 億円	537 億円
宿泊費総消費額	512 億円			512 億円
入場料総消費額	113 億円	154 億円	144 億円	411 億円
その他総消費額	148 億円	81 億円	133 億円	362 億円
観光総消費額	1,549 億円	739 億円	916 億円	3,204 億円